

21世紀に
伝えたい

ちばの魅力

No.35

浜に活気みなぎる

大原はだか祭り



夷隅郡
大原町

祭りの初日！波間で神輿がもみ合う「汐ふみ」



威勢のよい掛け声とともに次々と海に入っていく神輿

はだか祭りはどんなお祭り？

海水浴シーズンが終わり、初秋を迎えた夷隅郡大原町では、黒潮薫る海辺の街ならではの一大イベント「大原はだか祭り」が行われます。毎年9月23、24日の2日間にわたって開かれ、波間で神輿がもみ合う“汐ふみ”の勇壮さは関東随一とも言われ、多くの観光客でにぎわいます。

祭りは大原・東海・浪花の町内3地区18社合同で行われます。初日、それぞれの神社を出発した神輿は、各地区を練り歩きます。大原地区の神輿は地域の親神様である鹿島神社に集まり神事を行います。同神社は江戸時代に大多喜藩の祈願所になっていました。



鹿島神社本殿

午後2時すぎ、各地区を回った18基が大原漁港に揃います。神輿を担ぐ若衆は黒の手さし、脚絆をつけ、白の股引き、さらしの腹巻姿で、神輿ごとに異なる色の帯が目を引きま。漁港では五穀豊穡・大漁祈願祭がとり行われます。午後3時頃、大原海水浴場に移動した神輿は掛け声とともに海へと入って行きます。十基近くが波間でもみ合う豪快なシーンは祭りのハイライトです。その後、神輿は観衆でいっぱいの商店



大原海水浴場には毎年大勢の観衆が詰めかけます

街通りを木戸泉酒造前から大原小学校まで練り歩きます。午後5時半頃からはいよいよ祭りのクライマックス、同小学校校庭での「大別れ式」になります。夕暮れの校庭で神輿を担いでいっせいに駆け巡ったり、宙に投げ上げたり、激しく動き回ります。無数の提灯に明かりがともる頃になると絵巻物のようにも見えます。大別れ式が終わっても午後10時頃まではそれぞれの神輿が商店街などを渡御し、熱気あふれる夜です。

翌日は午後4時半頃から合同で商店街渡御、大別れ式があります。午後10時頃によく宮入りとなり、2日間の熱い祭りは幕を閉じます。

県内ではほかにも玉前神社(長生郡一宮



九十九里浜を舞台にした玉前神社のはだか祭り

町)のはだか祭りが知られています。9月12、13日に行われる秋季大祭で、九十九里浜の波打ち際を駆け抜けます。



交通 ■大原海水浴場(汐ふみ会場)まではJR外房線 大原駅から徒歩約20分

★大原町水産商工観光課 ☎0470-62-1111

★大原町H・P <http://www.town.ohara.chiba.jp>

※お祭り当日、祭り会場周辺の道路は交通規制されます。

いつ頃から始まったの？

大原町大井の瀧内神社には祭りのようすが描かれた貴重な絵馬が2枚保存されてい



ます(町指定文化財)。そのうちの1枚に描かれた幟旗には、「天保十二

年」(1841年、江戸時代)の文字が見られます。また「大原町史 通史編」では、鹿島神社の神輿修理の際に発見された書付けから、少なくとも300年以上前には既に何らかの祭礼が行われていたのではいか、と推測しています。

大正末期から祭りの衣装や神輿を担ぐ動きが派手になり、掛声もテンポのよいものになりました。その姿を変化させながらも祭りは今に引き継がれています。



歩行者天国となり、観衆で埋まった商店街通りを練り歩く神輿

祭りでどんな歌を歌うの？

大原はだか祭りではさまざまな祭り歌が伝わっていますが、祭りが最後の盛り上がりを見せる大別れ式で哀愁のこもる別れの

歌が歌われます。花火の合図とともに「わけもんども(若い者共) 別れが辛い 会う

て別れが 無けりやよい」と別れを惜しむ歌が繰り返し歌われます。



大別れ式

②側高神社の髭撫祭り(佐原市)／1月10日

神前で今年と来年の祭りの当番が酒を酌み交わ

す正月行事。その時、一方が髭を撫でればそれが酒の催促の合図となり、



他方が銚子を差し出さなければなりません。そこから祭りの名前がつけました。

③和良比のどろんこ祭り(四街道市)／2月25日

鉢巻き、白足袋に禪姿の若衆が皇産霊神社近くの田んぼでみそぎをし、豊年満作と無病息災を祈願します。神田の泥は赤ん坊の額につけると厄よ



けになるといわれています。また野田市の香取神社でも「どろんこ祭り」が行われています。

イセエビ漁獲量日本一って知ってた？

大原町の沿岸部は水深20m前後の岩礁地帯が豊かな漁場となりイセエビ、サザエ、ヒラメなど高級魚介類の宝庫です。特にイセエビ

は日本一の水揚げを誇ります。毎年10月、大原漁港で大原ふる里物産まつりが行われます。



はだか祭り当日、大原漁港での祈願祭で宙に舞う神輿



昨年の物産まつりで大好評だったイセエビ抽選会(左)と乗船体験(上)

ほかにもいろいろ 県内のおもしろ祭り

伝統的な祭りからは自然や信仰と関わり深く生きた先人たちの暮らしがうかがえます。今に伝わる祭りの中でユニークなものをご紹介します。

①唐枕養養・万満寺の股くぐり(松戸市)／3月27～29日、10月27～29日

春と秋の唐枕養養の際、同寺の仁王門に立つ仁王様の股をくぐると病気が厄よけができ、子どもは丈夫に育つといわれています。この金剛力士像(阿吽2体)は国の重要文化財に指定されています。



身近な自然がいろいろ・いすみ環境と文化のさと

「いすみ環境と文化のさと」は、夷隅郡3町内にセンター地区と7つのスポット地区が点在する自然観察や体験学習ができる場所で、観察路などの整備がなされています。いくつかのスポットを組み合わせて巡ってみても楽しめます。

A センター地区／夷隅町万木沼

ネイチャーセンターがあり、いすみ環境と文化のさとについて展示で学べるほか、近くの万木沼に設置された2台のカメラを操作して野生動物の観察ができます。

📍 いすみ鉄道国吉駅から徒歩約80分

🕒 9:00～16:30 入館無料 🗓 月曜、年末年始 ☎ 0470-86-5251



B 万木の丘／夷隅町万木城跡

戦国時代の領主・土岐氏の居城があった万木城跡公園周辺の丘陵地。城をイメージした展望台から田園地帯や阿波半島の山並が望めます。



📍 いすみ鉄道国吉駅から徒歩約30分



C ふるさとの森／夷隅町向台

八幡神社の森と周辺のため池からなる地区。植生はスギ、ヒノキ、スダジイ、タケなど。

📍 いすみ鉄道国吉駅から徒歩約50分

D 小動物の広場／夷隅町松丸

千町小学校に隣接する2つのため池を中心とする地域。溜池、水田、林などの多様な環境で生活する水鳥などの小動物が観察できます。

📍 いすみ鉄道国吉駅から徒歩約70分

E 所業樹の森／岬町鴨根

「清水観音」の名で親しまれる清水寺境内とその周辺の森。県内有数のスダジイの極相林が見られます。

📍 JR外房線長者町駅から徒歩約50分



F 昆虫の広場／大原町相尾

落合川に沿った地域で、自然観察路や習性生息園、蝶の広場などがあります。

📍 いすみ鉄道新田野駅から徒歩約20分

G トンボの沼／大原町高田堤

浅い沼にある島を結んで木製の観察路がつくられています。県内に生息するトンボのほとんどが沼周辺で見られます。



📍 いすみ鉄道上総大原駅から徒歩約20分

H ホテルの里／大原町山田

清流を保つ山田川沿いに県内有数のホテル生息地があります。見頃は5月下旬～6月上旬で、毎年「源氏ばたる祭り」が開かれています。

📍 いすみ鉄道国吉駅から徒歩約50分



※B～Hのスポット地区のお問い合わせは、Aのネイチャーセンターまで

トビックス・おおはら 朝市へ行ってみよう!

実施日／「3」と「8」のつく日

場 所／八幡神社境内(中画左ページ地区参照)

交 通／JR大原駅から徒歩約10分